

## 降雪（2月3日）による被害について

2月3日、関東地方全域に降雪があり、当解体工事現場にも相当量の積雪がありました。この降雪により流動床焼却炉の仮設構造物（養生シート及び仮設足場）の一部（屋根・天井部及び東側側面）が破損し被害を受けました。

### ①被害の状況

屋根部の降雪による荷重により屋根構造物（トラス構造）が破損し、内部に陥没しました。その重みで天井部のシートに引っ張られて、東側側面のシートが一部はがれました。

2月3日 AM11:35 降雪による仮設構造物の異常音・破損を現場監視ガードマンが確認。  
危機管理体制により社内関係者に連絡。

PM1:00 弊社関係者現地集合、被害状況を確認。

PM1:35 直ちに行政当局へ報告。

### ②行政による立入検査

2月4日、行政当局による被害状況の確認があり、仮設構造物に対する安全な対応及び適時情報公開の指導がありました。

同時に、仮設構造物内部の洗浄完了の確認が行われ、解体工事完了の確認が行われました。

### ③今後の対応

屋根・天井シートに溜まった雪等を除去した後、仮設構造物の解体作業を行います。

なお、高所作業につき安全を優先して仮設構造物の解体を実施いたします。

以上